



発行 社会福祉法人陽風園 金沢市三口新町1丁目8番1号 ☎ (076) 263-7101

## 全国社会福祉軟式野球大会

### 北陸ブロック優勝

全国大会に出場する野球部



## 暑い夏

陽風園診療所

所長 河合 卓一

熱中とは物事に心を集中することで、昆虫採取に熱中する、勉強に熱中するなど良い意味に使われてきた。それが熱中症となると病名になるから、当初は戸惑った。熱中症の発病は気温と大いに関係があり、高齢者は特に影響が出やすい。

平成六年の夏は京都で三九・四度を記録するなど、全国的な猛暑となり六〇〇余人が熱中症の犠牲になった。今年は四〇度を越えた地方もあるから気懸かりだ。

反対に平成五年は冷夏だった。蝉もあまり鳴かなかった。稲の生育が悪くイモチ病の大発生が予想され、農薬の投与が大幅に増えた。農林省は消費者の口に入る頃には農薬の影響は無いと言っていた。

それでも米の収穫量は七八〇万トンで、例年の一〇〇〇万トンを大きく下回った。不足分はタイ国から輸入した。輸送中かそれとも日本に着いてからの保管が悪かったのか、一部にカビが生えて黄色くなった。気分的なものかもしれないが、例年より農薬を多く使った国産米がよいのか、黄変するかもしれないタイ米がよいのか迷った覚えがある。

今年の猛暑はそんな心配を吹きとばした。熱中症は事前に用心すれば予防は可能である。蝉の大合唱の聞こえる、今年の暑い夏を大いに感謝している。

# 就任にあたって

## 新任ごあいさつ

常務理事兼向陽苑施設長

池之上幸男



この六月一日、陽風園の一員に加えていただきました。開祖小野太三郎翁の献

身的な活動を発し、百三十年を超える福祉活動の歴史を有する当園に勤務することとなり、身に余る光栄であるとともに責任の重大さに身の引き締まる思いをいたしました。以来三か月勤務し、これまでの園の歩みと先人のご労苦を知るにつけ、益々そのような感を強くいたしております。

陽風語録の一つに「生むことは難く、これを育てることは更に至難な業なり」とあります。この意を噛みしめ、もとより微力ではありますが、職務に精励いたしますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

さて、介護福祉の担い手についてであります。最近の景気回復基調で雇用が上向く中、求人数が求職者数を上回り介護職よりも待遇の良い職場に人員がシフトする傾向にあり、職員確保が容易でない状況にあります。さらに、団塊の世代が六十五歳

以上となる平成二十六年度には、介護職員六十万人の増員が必要となり、筋力トレーニングなど介護予防事業の効果による要介護者の割合低下や介護技術の進歩による業務効率化などがあっても、四十万人の増員を必要とするとの試算があります。

国においては人材確保が最重要課題として、給与など待遇改善を始め人材確保のための様々な措置を提言されております。事業者の業務効率化の努力はもちろんでありますが、財源となる介護報酬等の適正水準確保についても一層の配慮を賜りたいと願う次第であります。

団塊世代は、数の多さ故、社会に色々な影響を与えてきました。ベビーブームに始まり、学齢期には小・中・高等学校の校舎増築や新設などの児童・生徒急増対策を要し、現在は二〇〇七年問題であります。現在は二〇〇七年問題であります。注目を集めることになりそうです。

団塊の一員である私としましては、スポーツに親しみ筋力を鍛え今後に備えたいと考えております。ご支援をお願い申し上げます。簡単ですが挨拶とさせていただきます。

## 自己完結型組織としてのハビリポート若葉

ハビリポート若葉施設長

金丸 博彦



この六月から知的障害者更生施設ハビリポート若葉で仕事をさせていただくこととなりました。不安があった利用者の方とのコミュニケーションも、利用者の方から友だちのように声をかけてもらうことが多く、今では利用者の方からの声かけのお陰で日々元気をもらっています。

さて、ハビリポート若葉における仕事の様子をみていて感ずるのは、自衛隊の組織と相通ずるところがあるということです。自衛隊は自己完結した組織としてほとんどすべてを組織内で賄うという特性をもっています。

六年前の五月、石川県内浦町（現在は能登町）の山林約二〇〇ヘクタールを焼く火事がありました。地上からの消火では水利が効かず、石川県は空中からの消火が必要と判断し自衛隊に災害派遣要請をしました。当時、私は県の連絡要員として現地に入り、ヘリコプターによる空からの消火活動の一部始終を見る機会を得ました。夜明けとともに消火活動を開始するため、自衛隊の三重県明野基地からヘリコプター部隊が、大阪府の八尾基地からヘリコプターを運

両などの機械部隊が、それに山林火災用の水を用意するための地上要員が金沢駐屯地から出動しました。それぞれ異なった地域から出動してきたにもかかわらずほぼ同時に現地集結し、指揮官の下、整然としかも淡々と消火活動を行いました。鎮火確認後はまた整然と撤収しました。必要なものは全て自分たちで準備して行動する。能登半島地震、新潟県中越沖地震の被災地の支援においてもそういう組織だからこそ力が発揮できるのだと自分で納得しています。

ハビリポート若葉は、現在、利用者は一〇名であり、大規模な建物と敷地を有しています。その維持には日常、様々な業務が必要です。大量の衣類の洗濯、施設内の清掃、ワックスがけ、敷地内の除草、芝刈り、マイクロボスの運転、それに冬の降雪（私は未経験ですが）などなど。それらのほとんどを職員が行っています。

世の中、主に経費の削減を目指して、やれ派遣だアウトソーシングだと効率重視の風潮が支配的です。効率重視のあまり責任の所在が曖昧になっていかないか気になるところです。

ハビリポート若葉では、これからも職員一人一人が連携して、自分たちができる事は自分たちでモットーに利用者の安全安心のため一丸となつて業務に当たってまいります。

園 だ よ り

一 斉 美 化 デ ー



六月六日、快晴の中、一斉美化デーと称し、溝掃除などを中心に建物周辺の美化に努めました。「全施設一斉に」という形は初めてでしたが、職員一丸となって手際よく清掃することができました。皆で協力して一つの事をす

ること、同時に建物等が綺麗になることで、全職員がすがすがしい気持ちになれた一日となりました。

園 祭

七月二日、園の中央廊下は利用者の方による華やかなお花の作品や手芸作品で飾られ、祭り模様一色の中、恒例行事の園祭は四〇回目を節目を迎えました。

当日の悪天候を吹き飛ばすかのようには爽やかな陽風讃歌で幕をあけ、引き続き感謝状贈呈と長期勤続職員の表彰が行われました。今年の感謝状は、長年にわたり演芸ボランティアの主催、また寄付金品等を頂いております千寿閣社交ダンス愛好会会長の小島和美氏にお受け取り頂きました。

式典終了後は、各場所で開催された陶芸品・観葉植物等の販売もあり、ご家族の方や近所の方で大盛況でした。

また、講堂では串焼き、ビールを片手に、カラオケ大会を楽しまれる利用者の方、ご家族の方が大勢いらつしやいました。

最後になりましたが、今年もたくさんの方に参加していただき、お陰様で無事に、そして盛大に終えることができました。本当にありがとうございました。



施 設 だ よ り

向 陽 苑

納 涼 パ ー テ ィ ー

七月二十五日、毎年恒例の納涼パーティーが講堂において行われました。

夕食を兼ねての納涼行事で、待ちきれないとばかりに早くから長蛇の列となり、予定よりも十五分早く開始となりました。この日は朝からぐんぐん気温が上がったこともあり、場内は熱気に包まれていました。



まず、施設長から「事故や体調に気をつけ元気に夏を乗り切りましょう」と挨拶があった後、そうめん・赤飯・折り詰め・各種ジュース・ビール・おつまみ・スイカ等各コーナーへと足を運び、楽しい一時を過ごしました。

今年は、都合によりカラオケが中止となり、食事が終わるとすぐ



に居室に戻る姿も見られ、少し寂しい気もしましたが、「お腹いっぱいになったわ」「おいしかったよ」という声も多く聞かれ、満足された様子に安堵しました。年々高齢化し、健康面からアルコール禁止の方や、椅子を利用している食事者が増えているため、テーブル数を増やした結果講堂内が手狭になり、混雑したことが今後の課題です。入所者が快適な施設生活を送っていただけよう考えていきたいと思えます。

# 施設だより

## 万陽苑デイサービスセンター

### 梅干し作りにトライ!

皆さんのご家庭では、梅干しを漬けていますか?今年度、利用者の皆さんを中心に梅干し作りに挑戦してみました。

事の発端は、職員のTさんが「自宅の梅がたくさん生ったが、誰か家で梅干しでもするのにいらんか?」とセンターの職員に話し、職員の一部が、「利用者さん、昔を思い出して漬けたくないかしら?」と言った事でした。

『梅干しの作り方』と一言で言っても、塩加減から紫蘇の量など、各ご家庭によって作り方は様々ですよね。はじめに利用者の皆さんに作り方をお尋ねしたところ、各ご家庭の梅干しの作り方について、「うちでは



こうやったなあ」「あら、うちではこうよ」と、お話しが弾んでおいででした。

た。お米のとぎ汁を使う裏技から、困った時の対処法まで、皆さん色々存知だなあと感心するばかりの職員です。

本格的な梅干し作りの作業がはじまると、さすがは歴戦の主婦の皆さん。驚くほどの鮮やかな手つきで、あつと言う間に作業が進みました。また、男性の利用者の方々も丁寧に作業を手伝って下さり、中には「家でも手伝つとるよ」とお話しされる方もいらつしやいました。

完成した梅干しをみて、利用者皆さんが「いいがになったね」「来年はもっとたくさん漬けようね」と笑顔でおっしゃって下さるのが何よりです。とりあえず、今年作った梅干しが食べられる日が待ち遠しい今日この頃です。



## 木越デイサービスセンター

### 海風浴ドライブ

七月末、恒例行事となりました海風浴ドライブで、千里浜に行つてきました。今年は、長引いた梅雨のため天候が心配されましたが、当日は青空が広がりました。ドライブ日和となりました。ほぼ全員の参加となり何十年ぶりに千里浜に行くこと話され、皆さん楽しみにされていきました。道中車内では、子供が小さい頃によく連れて行つた事、足で貝を探したくさん獲つた事など色々話がはずんでいきました。なぎさドライブウェイを通つたところ、狭くなつていける浜を見て「昔はもっと広かつた」「地球温暖化のせいや」と口々に話されていきました。途中停車し、降りて深呼吸される方、車中にて窓を開け潮風にあたる方、各々良い表情が見られました。

これからも利用者満足感を得てもらえるよう企画していきたいと思ひます。



# 陽風園日誌

5月

子どもの日の集い (みずき保育園) 竹の子まつり (第二万・第三万) 喫茶

(万陽・第三万・三陽・若葉・木越デイ) 誕生会 (各施設)

ゲーム大会 (万陽デイ)

コンテナ菜園 (木越デイ)

ショッピング (特養三施設)

親子バス遠足 (みずき保育園)

遊学館高校自主講座 (陽風園)

赤トンボグループ歌謡ボランティア (陽風園)

崎浦健康づくり教室

大桑団地健康づくり教室

つつじが丘健康づくり教室

(地域福祉支援センター)

グループ希望ボランティア(陽風園)

真如苑ボランティア (第二万陽苑)

春の行楽(一班) (三陽ホーム)

ハイキング (あけぼの作業所)

北陸三県救護施設運動会

南小立野小学校ふれ愛りサイクル (三陽ホーム)

(陽風園)

石川県障害者スポーツ大会 (若葉・あけぼの)

評議員会・理事会 (陽風園)

春の旅行 (向陽苑)

風船パレード大会 (万陽苑)

健康教室 (木越デイ)

春の旅行(日帰り) (第三万陽苑)

介護ネットワーク委員会

(特養三施設・診)

バラ園見学 (木越デイ)

昼食会 (万陽苑)

# 施設だより

## 第二万陽苑

### 外出喫茶

第二万陽苑では、外出支援のため今年度より「外出喫茶」を企画・実施しております。

七月二十五日の午後、利用者七名、職員六名を乗せたマイクロバスは苑から五分の「ココス西大桑店」へ向けて出発しました。あつという間に到着し、皆様は早速メニュー選びに入りませ。選び方も様々で、ドリンクバーを注文する方もいれば、白玉ぜんざいやプリンを頼まれる方もおり、中にはこの日のために昼食を抜いて、スパゲッティやチャーハンを注文する方もいらつしやいました。そうこうしている内に楽しい時間は過ぎていきました。

今後このような外出行事を企画・実施し、利用者の皆様が楽しく心豊かに生活していただけるよう努めていきたいと思ひます。



## 第三万陽苑

### 春の日帰り旅行

五月晴れの五月二十三日、春の旅行に出発しました。利用者の方は去年を上回る十七名の参加となりました。

石川県立歴史博物館の見学とKKRホテル金沢で昼食というゆつたりのんびり旅行となりました。

石川県立歴史博物館では、「昭和ワンダーランド」モノでたどる戦後」という特別展を開催しており、旅行日前より楽しみにされていた利用者の方もいらつしやいました。

蓄音機を見て「私これで聴いとつたんや。」と目を細め懐かしそうに微笑んでいる利用者。昔の民家を再生した展示物の中の「つぶら」を見て「昔これに、ねんね（赤ん坊）入れて畑とつたんや。」と目をキラキラ輝かせながら話す利用者の方もいました。「へーこれが家のばあちゃんがよく言っていた『つぶら』かあ」と感心する職員。戦後、高度経済成長、奇跡的な復興、安定成長を経て昭和時

代を人生の黄金期として歩んできた利用者の方々。まさに昭和時代にタイムスリップしたひとときでした。

石川県立歴史博物館内では二名のご家族の参加もあり、和やかに過ごされました。

KKRホテル金沢での昼食では、苑では毎食五割程しか摂取されない利用者の方が、きれいな器に盛りつけられた料理を見て、「あらーきれいやー。おいしそやわー。」とペロリと完食し、「おいしかったわ!!」とニンマリしていらつしやいました。

苑ではなかなか見られない、やわらかな表情や、声のトーンが高くなる等、やつぱり外出はいいものだ実感。またこの笑顔が見たい!!一緒に笑いたい!!と実感した春の旅行でした。



6月

菖蒲湯 (各施設)  
喫茶 (万陽・第三万・三陽・木越デイ)

誕生会 (各施設)  
金沢美生会歌謡・舞踊ボランティア (陽風園)

美容ボランティア (陽風園)  
歯科検診 (みずき保育園)

一斉美化デー (陽風園)

春の行楽(二班) (三陽ホーム)

春の旅行 (第二万陽苑)

シヨッピング (特養三施設)

菊川健康づくり教室 (陽風園)  
崎浦健康づくり教室 (陽風園)  
十一屋健康づくり教室 (陽風園)

大桑健康づくり教室 (陽風園)  
つつじが丘健康づくり教室 (陽風園)

北陸学院中学校花の日訪問 (地域福祉支援センター)

卯辰山花木園ドライブ (万陽デイ)

菖蒲園ドライブ (万陽・第二万)

介護ネットワーク委員会 (特養三施設・診)

希望者旅行(第一班) (ハピリポート若葉)

波自加弥神社漬物コンテスト (あけぼの作業所)

ビデオ上映会 (第二万陽苑)

健康教室 (木越デイ)

西条康夫歌謡ボランティア(陽風園)

運動会 (向陽苑)

ゲーム大会 (第三万デイ)

プラネタリウム見学(みずき保育園)

ひまはりカットボランティア

(第二万陽苑)

遊学館高校自主講座 (陽風園)

# 施設だより

## 三陽ホーム

### ステンシル班

三陽ホームのステンシル班は作業の一つであり開始から今年で十年になります。ステンシルは専用の絵の具を使い型紙にそってぼかしながら色を付けていきます。ぼかしが一番重要とされとても細かい作業です。

他施設から誕生者のバースデイカードの注文を受けており、またいきいきギャラリー、喫茶友愛、友愛ショップに商品として納めています。

地域交流として、小学生対象に夏休みチャレンジ教室を実施しています。毎年たくさん申し込みがあり、今年で四年連続の参加者もおりと喜んでいきます。しかし、現在利用者二名での活動が現状です。そのため利用者にもっと関心をもってもらうよう努力し先輩が始めたステンシル班を今後も続けていきたいと思っています。



## ハビリポート若葉

### 盆踊り

八月二日、今年も恒例の納涼祭が賑々しく行われました。中でも利用者の方が楽しみにしているのが「盆踊り」です。舞台となる櫓の設置には、開催の一週間以上前から、炎天下の中、連日職員が力を合わせ少しずつ組立てにあたりました。櫓が姿を現してくると、利用者も「あと〇日で盆踊りやねっ」などと期待に胸を膨らませた表情で話しかけてくれます。当日はどうか晴れでありますようにと強く感じる瞬間でもあります。前日には紅白幕や提灯の飾り付けも完成し、祭りの雰囲気も一層高まり、いよいよ本番を待つばかりとなりました。舞台で踊る事を楽しみに、連日体育館で練習を重ねてきた利用者も、後はその成果を披露するだけとなりました。

二三日前から台風の影響と進路が報道され、石川県地方への影響も心配されましたが、当日の朝は曇り。何とか今日は一日雨が降らないことを願いました。午前中はカラオケで好きな歌を熱唱し、午後からは「ガラポン」やビデオ上映などが行われ、納涼祭の前半を楽し

みました。盆踊りの時間が近づくと、色とりどりの浴衣や甚平、半被に着替え、祭りムードも俄然、盛り上がってきました。

提灯に明かりがともり、いよいよ盆踊りの始まりです。この時を待ちかねていた利用者は、皆満面の笑みを浮かべて、会場に続々と集まりました。スピーカーから、炭坑節、金沢音頭、百万石音頭、みんなの願いと次々に曲がかかると、その都度、身振り手振り、足の運びを変えながら、皆思う存分踊りを楽しみました。

また、地域の婦人会、青年会の方々も踊りに参加され、納涼祭の夜を利用者と共に楽しまれました。

準備から納涼祭当日まで、「あつ」という間に過ぎて行き、祭りの夜も賑々しく終えることができました。前夜の賑やかさが嘘のような静けさで、淋しい気持ちになります。来年もまた「皆の楽しそうな笑顔が見たいから頑張らねばっ」と強く感じながら、後片付けの手にも力が入ります。

素敵な「夏の夜の宴」が毎年催し続けられることを願いながら、タオルで汗を拭い、今年の納涼祭に別れを告げました。

## 7月

### 開設記念祭

(第二万・第三万)

### 誕生会

(各施設)

### 金沢市長夏季見舞

(陽風園)

### 園祭式典

(陽風園)

理事長と女性職員との懇談会 (陽風園)

### 模擬店

(陽風園・若葉)

### 七夕会

(万陽デイ・みずき)

### わく・ワーク体験

(第二万・若葉・みずき)

リハビリテーションアカデミー見学 (あけぼの作業所)

### ショッピング

(万陽・第三万・第三デイ)

### 菊川健康づくり教室

### 崎浦健康づくり教室

### 大桑健康づくり教室

### つつじが丘健康づくり教室

### 内川健康づくり教室

(地域福祉支援センター)

作って食べよう会 (第三万陽デイ)

孟蘭盆法要 (陽風園・第二万)

手作りおやつ (木越デイ)

納涼食事会 (三陽ホーム)

### 希望者旅行 (二班)

(ハビリポート若葉)

### 納涼レクリエーション

(あけぼの作業所)

納涼祭 (向陽・万陽)

外出喫茶 (第二万陽苑)

夕涼み会 (みずき保育園)

健康教室 (木越デイ)

### 前田明悦民謡会ボランティア

(陽風園)

海風浴ドライブ (木越デイ)

夏祭り (第三万陽苑)

ひまわりグループ社会参加活動 (万陽苑)

遊学館高校自主講座 (陽風園)

施設だより

あけぼの作業所

納涼バーベキュー大会

七月二十一日、今年も夏の恒例行事となりました納涼レクリエーション、バーベキュー大会が内灘町総合公園で行われました。みんな待ちに待った行事でおいしそうなお肉や焼きそばを焼きながら、テーブルごとに楽しそうに笑い声が響き渡りました。お腹がいっぱいになった後は利用者・家族・職員と一緒に野球を楽しむ方や、隣りの温泉施設でさっぱりと汗を流す方などそれぞれに過ごしていました。

この日、バーベキューを通じて利用者・家族が一体となり楽しく過ごし、素晴らしい一日でした。また来年も皆様方の元氣な笑顔が見られるよう職員一同このような企画を設けられればと思います。



みずき保育園  
自分たちだけのオリジナル  
星に願いをこめて☆  
七夕の集い

大きな笹に可愛らしい手作りの飾りとたくさん願いが込められた短冊をつるし、心待ちにしていた七夕の日。みずき保育園では、前日に三々五歳児で集いを行いました。お星様まで届くような大きな声で七夕さまの歌をうたったり、灯りを消した中で光るパネルシアターを見たりと幻想的な世界に子どもたちの瞳もキラキラしていました。その後、みんなで点々と散らばっている星同士を少しずつないで何の星座か当てるクイズも楽しみました。漠然とした形から、それが何かを考えるのは少し難しいかと思われましたが子どもたちはよく考えてくれました。それとと言うのも、五歳児は以前にプラネタリウムの見学に出掛け、いろんな形の星座がある事を知り、それを基に自分の好きな星座を作った経緯があるからです。たくさんオリジナル星座の中には、コロケ座なんていう物もありました！おもしろいですね。  
たくさんの夢や願いを込めた楽しい七夕の集いとなりました。

利用者の変動状況 (5月～7月)

| 施設名      | 利用者数<br>(8月1日現在) | 入所  | 退所  |
|----------|------------------|-----|-----|
| 向陽苑      | 240              | 7   | 7   |
| 万陽苑      | 188              | 49  | 59  |
| 第二万陽苑    | 148              | 28  | 22  |
| 第三万陽苑    | 149              | 20  | 14  |
| 三陽ホーム    | 103              | 2   | 2   |
| ハビレポート若葉 | 210              | 0   | 1   |
| あけぼの作業所  | 40               | 1   | 1   |
| みずき保育園   | 177              | 2   | 1   |
| 診療所      | 13               | 20  | 21  |
| 合計       | 1,268            | 129 | 128 |

在宅サービス利用状況 (5月～7月)

| 施設名            | 事業         | 延人数   |
|----------------|------------|-------|
| 万陽苑            | ショートステイ    | 457   |
|                | デイサービス     | 1,007 |
|                | ホームヘルプサービス | 351   |
|                | 配食サービス     | 593   |
|                | 移送入浴サービス   | 47    |
|                | 居宅介護支援事業   | 542   |
| お年寄り地域福祉支援センター | 予防プラン      | 769   |
|                | 介護相談       | 273   |
| 木越             | デイサービス     | 904   |
|                | 居宅介護支援事業   | 108   |
| 第二万陽苑          | ショートステイ    | 468   |
|                | ホームヘルプサービス | 353   |
|                | 居宅介護支援事業   | 91    |
| 金沢南            | 居宅介護支援事業   | 313   |
| 第三万陽苑          | ショートステイ    | 439   |
|                | デイサービス     | 805   |
|                | 居宅介護支援事業   | 173   |
| ハビレポート若葉       | ショートステイ    | 9     |

ふれあいのまちづくり事業活動

| 講師派遣日数 |    |    |   |
|--------|----|----|---|
| 5月     | 6月 | 7月 | 計 |
| 0      | 0  | 0  | 0 |

# 感謝録

5月～7月

(順不同・敬称略)

## ボランティア

- 赤トンボグループ (金沢市)
- グループ希望 (金沢市)
- PL金沢南教会 (金沢市)
- 金沢美生会 (金沢市)
- 石川県美容業生活衛生同業組合 (金沢市)
- 北陸学院中学校 (金沢市)
- 金沢中央教会 (金沢市)
- 前田明悦民謡会 (金沢市)
- 円美会 (金沢市)
- 民謡竹心会 (金沢市)
- 葉月の会 (金沢市)
- 合歓の会 (金沢市)
- 三色すみれの会 (金沢市)
- 真如苑 (金沢市)
- ひまはりの会 (金沢市)
- プア・オレナフラダンス教室 (金沢市)
- 富樫太鼓 (野々市町)
- 第二万陽苑家族会 (金沢市)
- フレンズ優 (金沢市)
- ボランティアグループ白鳥の会 (金沢市)

## 寄附物品の部

- 西条 康夫 (金沢市) 朝倉 薫 (金沢市)
- 村尾 和子 (金沢市) 高窪千寿子 (金沢市)
- 新畑 光文 (金沢市) 安岡 龍男 (金沢市)
- 勝尾外美子 (金沢市) 宮口 文泰 (金沢市)
- 前田 理絵 (金沢市) 松下 学 (金沢市)
- 安川 珠恵 (金沢市) 宇都宮仁美 (金沢市)
- 荒間 知子 (金沢市)
- 石川医療器(株) (金沢市)
- 押野校下婦人会 (金沢市)
- 押野赤十字奉仕団 (金沢市)
- 前田明悦民謡会 (金沢市)
- 内川公民館 (金沢市)
- ボランティアグループささゆり (金沢市)
- 山野 晋 (金沢市) 和田 俊春 (金沢市)
- 谷口 公子 (金沢市) 吉浜 勝利 (金沢市)
- 辻 令子 (金沢市) 釜谷 吉信 (野々市町)
- 松下 豊昭 (金沢市) 小杉キミエ (野々市町)
- 丸岡 影子 (金沢市) 佐原 繁子 (七尾市)
- 盛山 俊子 (金沢市) 西谷 芳子 (内灘町)
- 前多 淳子 (津幡町) 越野 (金沢市)

## 寄附金の部

- (株)サンライン (金沢市)
- (株)福祉施設共済会
- 内川公民館 (金沢市)
- 金石地区社会福祉協議会 (金沢市)
- 宮川 昌江 (金沢市) 浅田 博 (加賀市)
- 松井 哲哉 (金沢市) 高山 吉男 (金沢市)
- 常石 秀夫 (内灘町) 伊勢 濟美 (金沢市)
- 堂上 邦子 (金沢市) 東 紀次 (金沢市)
- 浅田 孝夫 (加賀市) 野口 敬子 (大阪府)
- 飯田 實 (金沢市) 福田 幸子 (能美市)
- 小島 和美 (金沢市) 東藤 登 (野々市町)
- 池村喜八郎 (金沢市) 北川太三郎 (金沢市)
- 相川 ミツ (金沢市) 竹内 静子 (金沢市)
- 小野 陽子

その他匿名 七十三名

ご厚意ありがとうございました。